

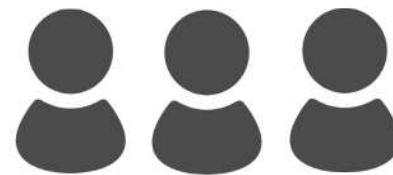
● 文化・芸術 観光分野で特に重要視された未来

子どもが体験型の美術教育を受けられる

地元の美術や文化を学校で学ぶ機会がある

- ・学校等で、体験型の美術教育を受けることで、まちにアーティストが増える。

小さい頃から芸術を身近に



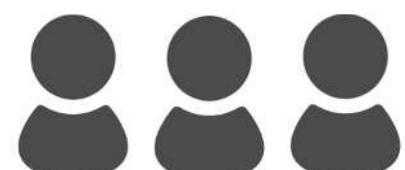
自動運転で観光スポットが回れるようになる

観光スポットと芸術体験の双方を周遊できる

音楽と美術がコラボレーションしたまち

- ・10km程度の移動であれば、自動運転バスで周遊できたらいい。
- ・美術も音楽とコラボレーションすると盛り上がる。
- ・観光スポットだけでなく、芸術体験も周遊できる。（陶芸等）

観光と文化芸術の双方が周遊できる環境



スポーツや運動の体験に関する未来

- いろんな競技を経験できるクラブチームができる
- カードゲームやeスポーツも幅広く実施している
- 子どもと高齢者が気軽にスポーツにかかわる場所が増えている
- 体育が嫌いにならない教育の仕組みが出来上がっている
- 運動が苦手な人向けの指導が強化されている
- 競技ではなく、体験や経験を重視した教育が受けられる
- 長野〇〇のようなスポーツイベントが定着している
- ウォーキングで地域とつながる仕組みが出来上がりつつある

プロスポーツに関する未来

- プロ(専門家)が学校で運動指導を行っている
- 学生とプロスポーツ選手がふれあう機会がある
- プロスポーツチーム主催の体験会が開催
- プロ選手との距離が縮まる場所がある
- プロスポーツにより地域振興が進んでいる
- 長野市に多くのプロスポーツチームが誕生
- プロスポーツの無料観戦チケットが配布されている

スポーツ施設や場所に関する未来

- 会社帰りにスポーツができる場所がある
- 「MIYASHITA PARK」のような施設が駅前にある
- 駅前に大きなスタジアムがある
- だれでも、体を動かせる場所、施設がある
- 公園等でスポーツができるよう、規制が緩和されている
- 大規模施設を公共交通で結ぶ仕組みが出来上がりつつある
- 体育施設に駐車場が完備されている
- ついでに行けるようなジムや運動スペースがある
- 大人と子どもで予約枠が分かれている
- 夜間にスポーツしても安心な場所がある

オリンピックに関する未来

- ユース大会や、アジア大会を誘致している
- オリンピックを誘致している

● スポーツ分野で特に重要視された未来

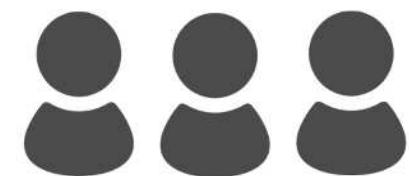
競技ではなく、
体験や経験を重
視した教育が受
けられる

体育を嫌いにな
らない教育の仕
組みが出来上
がっている

プロ(専門家)が
学校で運動指導
を行っている

- ・スポーツや運動をとおして、コミュニティができる。
- ・子どもたちがスポーツを通じて、成功体験を得ることが大切。
- ・プロと学校の先生の両方が教えることで、運動が嫌いになる人が減る。
- ・体験したことでの、スポーツに限らず挑戦したという自信にもつながる。

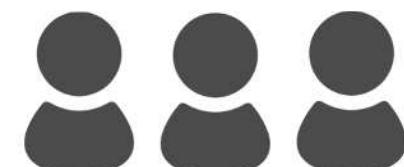
子どもたちが様々な運動を
体験



だれでも、体を
動かせる場所、
施設がある

だれでも体を動かせる場所、
施設の整備

- ・競技ではなくても、体を動かせる場所があることが大事。



若者の居場所 に関する未来

- お店以外に、若者が自由に使えるスペースが誕生
- 県外の友人と遊べる新たなスポットが誕生
- 若者が増え、活発なまち
- 駅前に若者が詰まるおしゃれスポットが誕生

起業・人手 に関する未来

- 気軽に起業できるような支援が充実したまち
- 若い人でも飲食店を開設できるテナントが豊富にある
- 商店街に若者や高齢者が交代で出店できる場所ができる
- デジタル技術により、人手不足が解消
- 都会からUターンしてきたくなるような仕事が多い

工業に関する 未来

- 大手メーカーが進出している
- ICT産業を活かしたシリコンバレーが形成されている
- 情報産業や建設業の高付加価値産業が発達している
- 市内のデジタル化を通じてIT事業者が増加

買い物、商店街、 駅前にに関する未来

- 商店街に人が集まるような仕掛けができる
- 中央通りや権堂アーケードが人の集まる場となっている
- 駅前が長野らしいまちになっている
- 権堂アーケードが食べ歩きできる商店街になっている
- 長野駅東口にも複合型商業施設が誕生
- 駅中が座って話せる憩いのスペースになっている

その他に に関する未来

- 外国人や県外向けのイベントが開催
- 御開帳にかかるイベントが開催

特産品、お土産に に関する未来

- 新しい、定番のお土産が誕生
- 今の特産品の「いいとこどり」な新しいお土産が誕生
- コンビニで地域の農産物や特産品が販売されている
- 生産から販売まで行うお土産が名物になる
- ガレットのような軽く食べれておしゃれな名物がある
- 特産品などのPRが盛大に行われている
- 特産品がふるさと納税で出品されている

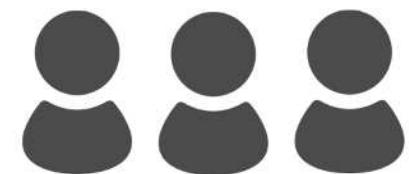
● 商工業分野で特に重要視された未来

外国人や県外向けのイベントが開催

御開帳にかわるイベントが開催

- ・御開帳に頼らないイベントができたらしい。
- ・市内向け、地元向けではない、県外の人や外国人も呼び込むイベントは、まちに若者も呼び込み、盛り上がる。

市外に向けた
新しいイベントを開催

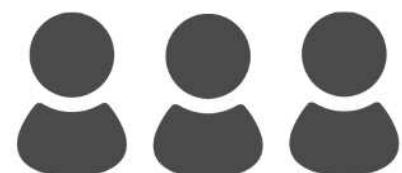


デジタル技術により、人手不足が解消

市内のデジタル化を通じてIT事業者が増加

- ・デジタル技術を活用して長野市を周遊し、消費につながるといい。
- ・デジタル技術の活用により、業務の効率化や人手不足の解消を図るとともに、IT事業者も誘致したい。

情報通信産業が集積



農業の担い手不足 に関する未来

- 担い手育成の拠点が誕生
- 農学校へ通う若者が増えている
- 住民の多くが家庭菜園に取り組んでいる
- 若者の多くが農業に関心を寄せている
- 宿泊と農業体験が一体となった施設が誕生
- 新しい農業の形ができる
- 農機具を新たに農業を始める人へ貸し出すサービスが始まっている
- プロに学びながら気軽に農業ができる環境が整っている
- 住民の生活に農業がある生き方が定着している
- 農業体験ができる借家が身近にある
- 企業の農業参入や、大規模農業化が進んでいる

農作物に関する未来

- 長野ブランドの新しい農作物が誕生
- おやきなど地域の食文化が継承されている
- 中山間地域ブランドのりんごが誕生

スマート農業 に関する未来

- スマート農業により、若者の農業参画が増えている
- スマート農業が普及している
- ドローンやAIにより長野の農業が盛り上がりつつある

中山間地に関する未来

- 中山間地域が光輝く場所になっている

林業に関する 未来

- 長野の木材がブランド化されている
- 働きにくいといふイメージが払しょくされている

鳥獣被害、ジビエ に関する未来

- 獣(クマ等)と共存できるまち
- クマ対策として、ハンターの育成が進んでいる
- ジビエが名産品(ブランド化)となっている
- 外来種もジビエとして食べられる

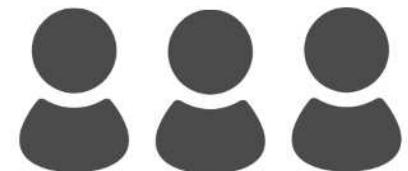
● 農林業分野で特に重要視された未来

獣(クマ等)と共存できるまち

長野市産ジビエがスーパー等で販売

- ・ 農作物への被害も人への被害も抑えたい。
- ・ 外来種駆除にもつながり、獣害も減る。
- ・ スーパー等でシカやイノシシの肉も卖れたらいい。

ジビエが市内に浸透



長野ブランドの新しい農作物が誕生

中山間地域ブランドのリンゴが誕生

- ・ ブランド名に中山間地名を付けたら、中山間地も盛り上がる
- ・ 今後進む温暖化に対応して、作物を変えていく必要がある。
(10年、20年の長期的なスパンで)

新しい農産品ブランドが誕生

